

2019年期生（J2）各位

近畿実務補習所運営委員会

2020年期 ディスカッションⅣテーマ

※2019年期に延期となったJ1対象の未実施科目のため、J1の単位として付与されます。

天満研修センターでのリアル集合研修を予定していますが、新型コロナの感染状況によってはオンライン開催となる場合があります。オンライン開催とする場合は、実施日の1週間前までに補習所お知らせメールにて連絡いたします。

いずれにしても受講するには**事前エントリーが必要です**。班ごとに指定されたコマに出席してください。

受講希望されるJ3以上の方は、下記の事前エントリーフォームからお申込み下さい。

ディスカッションを通じ、論理的思考力、瞬発的思考力、批判的思考力を高め、短時間で的確に主張を行う能力、意図を的確に伝える構成力、説得力のあるプレゼン能力を養うことを目的として実施します。

ディスカッションⅣのテーマは下記のとおりです。どちらのテーマ（テーマ1、テーマ2）、どちらの立場（A派、B派）を担当することになっても、活発な議論が出来るよう事前に情報収集に努め自身の考えをまとめた上で出席して下さい。テーマの割り当ては当日に講師が決定します。

テーマ1

令和2年度税制改正により、連結納税制度について、令和4年4月1日以後に開始する事業年度からグループ通算制度へ移行することとなりました。しかし、現行の連結納税制度も一定のメリットがあるものの依然として制度を選択していない企業も多く存在します。各制度の特徴を踏まえて、連結納税制度を選択していない企業にとってのグループ通算制度の採用是非について、A派・B派に分かれて議論しなさい。

A派：グループ通算制度を採用したほうがよい

B派：グループ通算制度を採用しないほうがよい

テーマ2

従来より、法定監査における不正の位置づけが議論されてきました。今尚法定監査の目的は、不正の発見や摘発にあるわけではありませんが、監査の過程で発見した不正については一定の対応が求められます。しかし昨今、大きな会計不正にかかわる問題が明るみになって、法定監査における不正の発見に、従来以上に社会的期待が集まっているように思料されます。そこで、法定監査において、不正の発見をどのように位置づけるべきか、種々の不正の態様にも斟酌しつつ、A派・B派に分かれて議論しなさい。

A派：不正の発見は法定監査における主要な目的とすべきである。

B派：不正の発見は法定監査における主要な目的とすべきでない。

事前エントリーフォーム（受講申込）

ご自身が所属する班のコマを受講して下さい。

申込期限：7月11日（日）まで

キャンセルは、7月14日（水）17：00 まで

■J2・本科継続生用

<https://business.form-mailer.jp/fms/e46f9f96147257>

■J3・単科継続生用（受講料：3,000円）

<https://business.form-mailer.jp/fms/a755102b147260>

リアル集合型研修を予定しています

- ・ 月日：7月22日（木・祝）
 - 午前の部（9：30～12：30）：5～8班、
 - 午後の部（13：30～16：30）：1～4班
- ・ 会場：天満研修センター

出席確認等の手順について

- ① 受付で「補習生カード」をカードリーダーに通す。若しくは署名する。
- ② 当日の配付資料（班のメンバー表）を受け取る
- ③ 指定された班の「教室」に入り、グループ番号毎に着席する（座席図は教室内に掲示）
- ④ 受講後、受付にて補習生カードを通す。若しくは署名する。入退室ともに記録がない場合、単位は付与されませんので忘れないように注意して下さい。

以上